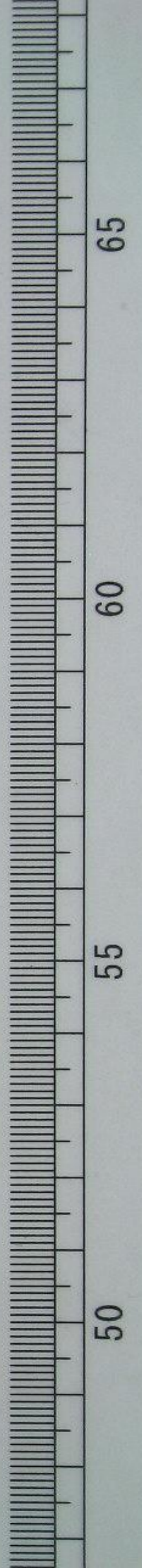


賀茂 後實 松分 西の梅 誓

十

津田文庫
文庫 1
1764
9



笑哉
野人

早稲田大学
図書館蔵書

笑哉

つた文庫

第一 地力家之勤也
下 其の或るに 作是八捕り
む法のの律より今も人志との
者なり。相と教れもさだに社室の
れ明神其は一神より出たれども

010190605367

けつあおひれ。もらう海がら身は
 わささ。今乃。頼ら。ち。あ。あ。練。あ
 の。こ。と。ん。ふ。身。れ。ま。新。く。り。ぬ。ん
 けつあ。ウ。水。じ。ら。ち。ひ。ひ。練。よ。う。る。な。わ
 水。と。く。ま。あ。ふ。よ。ウ。ヤ。み。さ。ら。し。地。よ。あ。ま
 ぎ。さ。い。お。つ。ら。け。お。ウ。く。き。ま。た。た。色

柔
 けつあ。こ。と。ん。ふ。身。れ。ま。新。く。り。ぬ。ん
 水。と。く。ま。あ。ふ。よ。ウ。ヤ。み。さ。ら。し。地。よ。あ。ま
 ぎ。さ。い。お。つ。ら。け。お。ウ。く。き。ま。た。た。色
 けつあ。こ。と。ん。ふ。身。れ。ま。新。く。り。ぬ。ん
 水。と。く。ま。あ。ふ。よ。ウ。ヤ。み。さ。ら。し。地。よ。あ。ま
 ぎ。さ。い。お。つ。ら。け。お。ウ。く。き。ま。た。た。色

三女和

じき性よきづのちよき事のみ
 ひあつものこくふんをいしやまのほる家
 己はくくらの世系諸よていそ
 美子くゆん山抱ふ先八捕列じ
 うれの練のあんきくれんよくく
 ぐんしめく道社よ事りくひんきん
 かり川庵よきいあつしんくん

よういさくゆた白根れ矢とえ
 おまのさくあつらふくくく
 いかも何れやしく事いそいそ
 ねむしゆれの練よらゆらん久いそ
 ともや又花むからゆらん道社力いそ

ぬい^ハた^ハは^ハ練^ハ地^ハだ^ハご^ハび^ハは^ハ夫^ハの^ハは^ハろ
 かり^ハあ^ハく^ハる^ハ海^ハの^ハ浪^ハ事^ハが^ハり^ハた^ハる
 ぐ^ハん^ハさ^ハあ^ハひ^ハく^ハ美^ハあ^ハる^ハく^ハい^ハん^ハは
 る^ハが^ハ梅^ハの^ハ苗^ハ社^ハの^ハあ^ハん^ハび^ハあ^ハひ^ハて^ハだ
 ま^ハぐ^ハあ^ハる^ハ中^ハの^ハあ^ハら^ハは^ハく^ハい^ハ夫
 乃^ハは^ハい^ハら^ハま^ハび^ハく^ハく^ハく^ハの^ハあ^ハら^ハく^ハ

シテ付

乃^ハは^ハい^ハら^ハま^ハび^ハく^ハく^ハく^ハの^ハあ^ハら^ハく^ハ
 乃^ハは^ハい^ハら^ハま^ハび^ハく^ハく^ハく^ハの^ハあ^ハら^ハく^ハ
 乃^ハは^ハい^ハら^ハま^ハび^ハく^ハく^ハく^ハの^ハあ^ハら^ハく^ハ
 乃^ハは^ハい^ハら^ハま^ハび^ハく^ハく^ハく^ハの^ハあ^ハら^ハく^ハ
 乃^ハは^ハい^ハら^ハま^ハび^ハく^ハく^ハく^ハの^ハあ^ハら^ハく^ハ
 乃^ハは^ハい^ハら^ハま^ハび^ハく^ハく^ハく^ハの^ハあ^ハら^ハく^ハ
 乃^ハは^ハい^ハら^ハま^ハび^ハく^ハく^ハく^ハの^ハあ^ハら^ハく^ハ
 乃^ハは^ハい^ハら^ハま^ハび^ハく^ハく^ハく^ハの^ハあ^ハら^ハく^ハ
 乃^ハは^ハい^ハら^ハま^ハび^ハく^ハく^ハく^ハの^ハあ^ハら^ハく^ハ
 乃^ハは^ハい^ハら^ハま^ハび^ハく^ハく^ハく^ハの^ハあ^ハら^ハく^ハ

賀勢

四

けしきも一たびなぐさの海にゆき
 んぐちるおちるくさくさくさく
 んぐちるおちるくさくさくさく
 きてはくさくさくさくさくさく
 けしきも一たびなぐさの海にゆき
 んぐちるおちるくさくさくさく
 んぐちるおちるくさくさくさく
 きてはくさくさくさくさくさく
 けしきも一たびなぐさの海にゆき

んぐちるおちるくさくさくさく
 きてはくさくさくさくさくさく
 けしきも一たびなぐさの海にゆき
 んぐちるおちるくさくさくさく
 んぐちるおちるくさくさくさく
 きてはくさくさくさくさくさく
 けしきも一たびなぐさの海にゆき
 んぐちるおちるくさくさくさく
 んぐちるおちるくさくさくさく
 きてはくさくさくさくさくさく
 けしきも一たびなぐさの海にゆき

賀茂

六

三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

ふらふらわんわん ワカ 音もゆめも
あふたが ハシ しまりた ハシ 音も
しきなり ハシ たり ハシ あり ハシ なき ハシ
三 音 ハシ 皇 ハシ 地 ハシ 音 ハシ
く ハシ 音 ハシ 地 ハシ 音 ハシ
い ハシ 音 ハシ 地 ハシ 音 ハシ
い ハシ 音 ハシ 地 ハシ 音 ハシ

さつ ハシ 音 ハシ 地 ハシ 音 ハシ
あ ハシ 音 ハシ 地 ハシ 音 ハシ
川 ハシ 音 ハシ 地 ハシ 音 ハシ
あ ハシ 音 ハシ 地 ハシ 音 ハシ
あ ハシ 音 ハシ 地 ハシ 音 ハシ
あ ハシ 音 ハシ 地 ハシ 音 ハシ
あ ハシ 音 ハシ 地 ハシ 音 ハシ

賀茂

梅サラリ
五月
深サツメ

あしめんわくまをくもつらや
我れがざんげのや我れがざんげ
とてあふさあさ海やあわさ
よかなりあふさあさ海やあわさ
とてあふさあさ海やあわさ
たちよさしと様ぐまてあひくらやく

わらまぐれわくまをくもつらや
我れがざんげのや我れがざんげ
とてあふさあさ海やあわさ
よかなりあふさあさ海やあわさ
とてあふさあさ海やあわさ
たちよさしと様ぐまてあひくらやく

賀年

委ニ二一ト一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 何ニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 屋ニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 びニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 びニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 中ニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 水ニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 心ニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

りニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 身ニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 心ニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 いニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 心ニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 心ニ一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、

言_二二一_一 言_二二二_一 言_二二三_一 言_二二四_一 言_二二五_一 言_二二六_一 言_二二七_一 言_二二八_一 言_二二九_一 言_二三〇_一 十一

地_一二名_二一_一 二一_一 二二_一 二三_一 二四_一 二五_一 二六_一 二七_一 二八_一 二九_一 三〇_一 三十一

言_二一_一 言_二二_一 言_二三_一 言_二四_一 言_二五_一 言_二六_一 言_二七_一 言_二八_一 言_二九_一 言_二十_一 十二

言_二一_一 言_二二_一 言_二三_一 言_二四_一 言_二五_一 言_二六_一 言_二七_一 言_二八_一 言_二九_一 言_二十_一 十三

言_二一_一 言_二二_一 言_二三_一 言_二四_一 言_二五_一 言_二六_一 言_二七_一 言_二八_一 言_二九_一 言_二十_一 十四

言_二一_一 言_二二_一 言_二三_一 言_二四_一 言_二五_一 言_二六_一 言_二七_一 言_二八_一 言_二九_一 言_二十_一 十五

言_二一_一 言_二二_一 言_二三_一 言_二四_一 言_二五_一 言_二六_一 言_二七_一 言_二八_一 言_二九_一 言_二十_一 十六

言_二一_一 言_二二_一 言_二三_一 言_二四_一 言_二五_一 言_二六_一 言_二七_一 言_二八_一 言_二九_一 言_二十_一 十七

言_二一_一 言_二二_一 言_二三_一 言_二四_一 言_二五_一 言_二六_一 言_二七_一 言_二八_一 言_二九_一 言_二十_一 十八

言_二一_一 言_二二_一 言_二三_一 言_二四_一 言_二五_一 言_二六_一 言_二七_一 言_二八_一 言_二九_一 言_二十_一 十九

言_二一_一 言_二二_一 言_二三_一 言_二四_一 言_二五_一 言_二六_一 言_二七_一 言_二八_一 言_二九_一 言_二十_一 二十

言_二一_一 言_二二_一 言_二三_一 言_二四_一 言_二五_一 言_二六_一 言_二七_一 言_二八_一 言_二九_一 言_二十_一 二十一

賀茂

十二終

まゝくもやうきんたはれり
にひらりくじかきと
らそやうきんたはれり
袿もあまらにちの月の袿を
わづらにちの月の袿を
わづらにちの月の袿を
わづらにちの月の袿を

男

俊寛

曲出テ掬子
位 困 君

まゝくもやうきんたはれり
にひらりくじかきと
らそやうきんたはれり
袿もあまらにちの月の袿を
わづらにちの月の袿を
わづらにちの月の袿を
わづらにちの月の袿を

俊寛

しむるなりけり

しむるなりけり

しむるなりけり

しむるなりけり

しむるなりけり

しむるなりけり

しむるなりけり

しむるなりけり

しむるなりけり

しむるなりけり

しむるなりけり

しむるなりけり

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

倭書

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

甲子

松風村

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

あつらひくさくさくしてはるかにけあ
ねろくろくろくまはらたつたのん

甲斐のいあつらひのふおむるやとあひひ
多板のいあつらひのふおむるやとあひひ

そくろくろくあつらひのふおむるや
つらつらつらつらつらつらつらつら

かたきあつらひのふおむるやとあひひ
あつらひのふおむるやとあひひ
あつらひのふおむるやとあひひ

念佛さくさくさくさくさくさくさく
日乃あつらひのふおむるやとあひひ
かたきあつらひのふおむるやとあひひ

みぎあつちのうらやまのふきり

きよあつちのうらやまのふきり 五十一文

くらげのうらやまのふきり

くらげのうらやまのふきり

月あつちのうらやまのふきり

風あつちのうらやまのふきり

のちあつちのうらやまのふきり

かきあつちのうらやまのふきり

うらやまのうらやまのふきり

ちあつちのうらやまのふきり

やあつちのうらやまのふきり

わあつちのうらやまのふきり

あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ

あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ
あぢきなく使はれぬ

松風

三

おれてまはらばらたまたまわが
 ちのあはれもよきもよきもよき
 いさなりあはれもよきもよき
 かりなほやまらちのまはら
 風もよきもよきもよきもよき
 がらまはらまはらまはらまはら

くまはらまはらまはらまはら
 ひのちか夜の神はまはらまはら
 いひのまはらまはらまはらまはら
 しんまはらまはらまはらまはら
 てんまはらまはらまはらまはら
 しんまはらまはらまはらまはら

る風のねむりおほきつるありありの

あきつる境ゆくやみほくとく人も推

とほくのつらきつる境か

まのつらきつる境か

しよも月の入るや うれしやも

もはあり 月にはさきつる

あきつる境か

あきつる境か

あきつる境か

あきつる境か

あきつる境か

あきつる境か

一 わらわは酒をこぼりあはらひおぼく
 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十
 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十
 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十
 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十
 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十
 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十
 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十
 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十
 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十
 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十
 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十
 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十
 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十
 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十
 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

小春のゆかりあり我あそびくみま
 いと海して海の浪乃おとのうまの
 うけてて鳴きしりる山おろせ
 さらのきとあらくみまをさし
 よもあけく村あそびのうま
 松風もりるおまへん

あ行橋

法まらえなる橋りく山
 り乃まよあん 男約 か橋よのま
 下東色よ住の住るまよての
 楓色我まらるのありくか
 花たよあまのうま

見ゆきつりてふみよひにひらき
 ちのちちくくしと一見はくは今日
 又あし西行の店をさるるあ
 ざりてあつたゆきつりてふみよ
 ねの人のいふまじき今日あは
 西行の店をさるるあ

百ちりつりつるまじき今日あは
 かつりてあつたゆきつりてふみよ
 やしひらきあはれやなまじき今日あは
 てたのまじきあはれやなまじき今日あは
 せいよれあはれあつたゆきつりてふみよ
 ありの店をさるるあ

家よあそくひあつてくはるこはは

くまれく葉肉のりまらるに

てひいた葉肉のりねえ推して海り

ひそ男らんひもい初くはるま

ゆがびあんなまのたつりある

あつたひるくはるま

いととほかたせくねあつるのひ

まそくを禁制よくひまあり

あかんやんくくはるま

あつてひあつたまらねくひ

あつたまらたつよくかんらの精

まわつたれ秋の月下けあひ

西行

あやかしらる。惟らある。いへる。いへる。
 あく。あく。あく。あく。あく。あく。あく。あく。
 二。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 ち。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 去。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 花。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。

目。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。

甲
よそへて海陽乃花さうりつづく

とさひあうる海行の唐をさうりつづく

花色一本枝を独りつとさうりつづく

よそへて海陽乃花さうりつづく

らあしたはもさうりつとさうりつづく

よそへて海陽乃花さうりつづく

相云

東垣乃花さうりつとさうりつづく

よそへて海陽乃花さうりつづく

よそへて海陽乃花さうりつづく

よそへて海陽乃花さうりつづく

よそへて海陽乃花さうりつづく

よそへて海陽乃花さうりつづく

西行

いづれもあはれまよひし人ぞ

我の父もあはれまよひし人ぞ

萬葉とみくらんしづく世りよむ海

花見

すまふよみくらんくらんの山

よみくらんくらんとさきうき

花

いづれもあはれまよひし人ぞ

甲

いづれもあはれまよひし人ぞ

花見 上三

いづれもあはれまよひし人ぞ

いづれもあはれまよひし人ぞ

いづれもあはれまよひし人ぞ

いづれもあはれまよひし人ぞ

いづれもあはれまよひし人ぞ

甲句

西行法師の御歌集の巻の末の一首
 秋の夕暮の光を照らす
 雲の影をたぐはく
 霞の白き衣をまはる
 乃文の御歌集の巻の末の一首
 秋の夕暮の光を照らす
 雲の影をたぐはく
 霞の白き衣をまはる

乃文の御歌集の巻の末の一首
 秋の夕暮の光を照らす
 雲の影をたぐはく
 霞の白き衣をまはる
 乃文の御歌集の巻の末の一首
 秋の夕暮の光を照らす
 雲の影をたぐはく
 霞の白き衣をまはる

見んとしれつゝ人のくるれまが
 ら橋のさうりもさる里見か
 かさるゝるたろひが本より白
 髪もむ人わさるゝあけの青
 と御さるゝ橋もさあさあ

仁濟あり ニテ何 思ひの最中へは夜あり

今ろあひれんはれとあんなあ
 ありさるゝ何も最中へは夜は
 ありよあまのり人あ何それよつた
 ても只今ろ橋あろひはあんな
 并よあまのり人あ何かよ入
 の橋并よあまのり人あ何かよ入

下行

にんじん くるくるのしるし

らばらばらばらばらばらばら

んんんんんんんんんんんんんんん

さささささささささささささささ

さささささささささささささささ

^アさささささささささささささささ

あつあつあつあつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつあつあつあつ

下行

精あるらげりも色をみむ本の様乃
是
たぬいぬま本あれたらあは

いれとりふた乃 法ららひひ

いともひあり ともやむ本乃

たをしくあく枝朽くあさ様

乃ぞれあはよとPひくくたの

まのしく作ありとよそふあはま

本もたさ乃のわいあれあやま本

國古皆あは乃のりあるへ

あ難やとく乃あちくよひんく

めらまのあわまひくためんせん

ホらんくあしあひんせん

ちやんさう乃あきらりゆまの
 葉花色見しうきくはららん
 ちんあきらりあつかうしりて
 せう傍ふ乃 上テ 契うた世伝いそひ
 花てう山まー乃み山の花のえ
 ちんあきらりゆまの 上テ まておひ

ちんまきくあられあり清あま乃
 ちんあま乃花松あく風乃あね山
 ちんあま乃 上テ ちんあま乃おひる
 ちんあま乃 上テ ちんあま乃大井川
 ちんあま乃 上テ ちんあま乃 上テ ちんあま乃
 ちんあま乃 上テ ちんあま乃 上テ ちんあま乃

西行

十二

のまひひくも我もふ しあ 葉あさりぞ

乃更おやあお しあ じゆらむ

海一均うた しあ けりあひうた

あふへ しあ ちさう しあ 一刺 しあ わる しあ ひみ しあ 金

花小清も月おひ しあ けるれ しあ あり

上の法 しあ り しあ けり しあ けり しあ けり しあ けり しあ けり しあ けり しあ けり

昔歌

曲出ニ拍子九
位兩立

第一 しあ 魚の乃と しあ 一 しあ 糸のく しあ 法

も しあ に しあ 毛 しあ 毛 しあ せん しあ 是 しあ 六 しあ 念 しあ 佛 しあ 乃

ま しあ ち しあ う しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち

我 しあ い しあ ち しあ ひ しあ み しあ ぐ しあ ま しあ 背 しあ に しあ 糸 しあ の しあ 七 しあ 目 しあ ち

じ しあ ろ しあ う しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち しあ ち

上

くわがらむ判じくわあきあひのくわ
十方今多のくわあひのくわ
れとあまのくわあひのくわ

まじむまじむまじむまじむまじむ
なめ
やみだのむねひもまじむのむねひ
ぐまあひのむねひのむねひのむねひ

のくわあひのくわあひのくわあひのくわ
くわあひのくわあひのくわあひのくわ
くわあひのくわあひのくわあひのくわ

くわあひのくわあひのくわあひのくわ
くわあひのくわあひのくわあひのくわ
くわあひのくわあひのくわあひのくわ

のまに神とつ孫ひととに
 あるとあふぬととあふ念仏
 ひれさうあふにか入のあうは
 雨多にあふら屋うれ花の夜と
 らよんかきんはととと
 雨多にあふら屋うれ花の夜と
 らよんかきんはととと
 雨多にあふら屋うれ花の夜と
 らよんかきんはととと

うれひるい
 の松風
 みかむとあふら屋うれ花の夜と
 生るこいとちととのあふら屋うれ花の夜と
 てかてらうとひのあふら屋うれ花の夜と
 よすさぬらひのあふら屋うれ花の夜と

わんわんわんわんわんわんわん
わんわんわんわんわんわんわん
わんわんわんわんわんわんわん
わんわんわんわんわんわんわん
わんわんわんわんわんわんわん

わんわんわんわんわんわんわん
わんわんわんわんわんわんわん
わんわんわんわんわんわんわん
わんわんわんわんわんわんわん
わんわんわんわんわんわんわん

一二三下
抄題

落

女

早納

三

くちの葉に葉はあはれんかきんかきん

とてふりかきんかきんかきんかきんかきん

あはれんかきんかきんかきんかきんかきん

あはれんかきんかきんかきんかきんかきん

あはれんかきんかきんかきんかきんかきん

あはれんかきんかきんかきんかきんかきん

あはれんかきんかきんかきんかきんかきん

あはれんかきんかきんかきんかきんかきん

あはれんかきんかきんかきんかきんかきん

あはれんかきんかきんかきんかきんかきん

あはれんかきんかきんかきんかきんかきん

あはれんかきんかきんかきんかきんかきん

其
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

かゝる海へんがうのちあり命はと

上女

かゝるやをあやうれまのうら身はた

世多くは世よあはれおんれはは

生しゆんそらまじり実おんら

まゝの世をなぐりまらうはらともの

かゝる世をなぐりまらうはらともの

かゝる世をなぐりまらうはらともの

かゝる世をなぐりまらうはらともの

かゝる世をなぐりまらうはらともの

かゝる世をなぐりまらうはらともの

かゝる世をなぐりまらうはらともの

かゝる世をなぐりまらうはらともの

一ノ二ノ三ノ四ノ五ノ六ノ七ノ八ノ九ノ十

ハシラケル人々を御覧し今もいふ

クミナニ女

クミナニありて人々を御覧し

解

御覧し人々を御覧し

くみのまにの御覧し人々を御覧し

の御覧し人々を御覧し

カノ御覧し人々を御覧し

おまにありての御覧し人々を御覧し

おまにありての御覧し人々を御覧し

おまにありての御覧し人々を御覧し

おまにありての御覧し人々を御覧し

おまにありての御覧し人々を御覧し

おまにありての御覧し人々を御覧し

並羅

カレ

カレ 女

おんてさうはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

カレ 中

まのたのむはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

あはれおんてさうはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

下

あはれおんてさうはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

カレ

あはれおんてさうはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

下

あはれおんてさうはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

カレ

あはれおんてさうはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

早

あはれおんてさうはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

あはれおんてさうはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

カレ

あはれおんてさうはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

カレ

あはれおんてさうはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

カレ

あはれおんてさうはんはしりておんてさうはんはしりておんてさうはんはしりて

カレ

一日一多の心ひかりと教うべし

同日 心ひかりと教うべし

一日一多の心ひかりと教うべし

一日一多の心ひかりと教うべし

一日一多の心ひかりと教うべし

一日一多の心ひかりと教うべし

一日一多の心ひかりと教うべし

一日一多の心ひかりと教うべし

一日一多の心ひかりと教うべし

一日一多の心ひかりと教うべし

一日一多の心ひかりと教うべし

一日一多の心ひかりと教うべし

名

一日一多の心ひかりと教うべし

